

第4学年C組 外国語活動学習指導案

授業者 藤田 峻 (HRT), Mark Jones (ALT)
研究協力者 佐々木 雅子
教材分析協力者 若原 保彦

1 単元名 A Japanese Picture Book for You ～オーストラリアの小学生へ～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

外国語活動についてのアンケート(4/30実施)を行ったところ、「英語(外国語活動)の学習は好きですか」の質問に対して、学級の84%の子どもが「よく当てはまる」または、「当てはまる」と回答した。「好き」の理由として、「外国の人と話す楽しい」や「英語が伝わると嬉しい」等があげられている。また、81%の子どもが学校以外の場(英会話教室・通信教育等)でこれまでに英語を学んだ経験があり、英語に慣れ親しんでいる子どもが多い。

その一方で、新しいALTに自由に質問をする場面では、多くの子どもたちが英語を用いることなく、日本語で尋ねていた。これまでに繰り返し慣れ親しんできた英語での自己紹介は自然に話すことができるが、その場で考えて話す場面では、既習事項を用いて自分の考えや気持ちを表現するまでに至っていない子どもが多い。

(2) 単元について

本単元では、慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする資質・能力を高めることを目指す。

そのため本単元のゴールに、Web会議システム(Teams)を活用し、オーストラリアの小学生とリアルタイムでお気に入りの絵本について紹介し合う活動を設定した。当日までの交流活動として、自己紹介を交えたメッセージ動画をやり取りしたり、グループで撮影した絵本の紹介動画について、オーストラリアの小学生に視聴してもらい、動画でのコメントをもらったりする等、オンデマンド型の活動を単元を通して進めていく。

また、本単元はモジュール学習のモデルである。総時数8時間(モジュール学習を含む)のうち、4時間分が週1回の外国語活動、残りの4時間分を15分×12回のモジュール学習として構成する。モジュール学習は、オーストラリアの小学生からの反応を基に、何度も動画を見返したり、絵本の紹介をよりよくしたりする等、一人一人が学びを進める時間とする。

子どもたちにとって身近な絵本を紹介する活動は、既習事項を用いて絵や写真の内容を説明したり、お気に入りの理由を相手に自分事として伝えたりする主体的な言語活動につながる。ICT機器の活用により海外との本物のコミュニケーションの場を設定することで、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図っていく子どもの姿を、本単元では期待している。

(3) 指導について

先述の資質・能力を育むために、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに着目し、自分の考えや気持ちを表現するために必要な語句や表現、伝え方を工夫する「見方・考え方」を働かせた学習活動を単元を通して位置付ける。

はじめに、単元の導入では、子どもたちが学習の見通しをもち、交流に向けての学習意欲を高められることができるように、オーストラリアの小学生からのメッセージ動画を提示する。返事の自己紹介動画を撮影するため、どのような内容を伝えたいか、そして、その内容を適切に表現するために用いる語句や表現、伝え方を一人一人が考える場を保障する。

次に、子どもたちが「自分たちも絵本を使って、国際交流してみたい」と思えるような動機付けとして、HRTとALTによる絵本の紹介についてのSmall Talkや、大学生がオーストラリアの小学生に、日本の絵本を紹介したことで喜ばれたエピソードを取り上げる。また、絵本を選定するときの視点として、これまでに慣れ親しんだ語句や表現を用いて説明することができそうな絵本であることや、オーストラリアの小学生が読んでみたいと思える絵本であることを全体で共有する場を設け、自分たちで選定することができるようにする。

モデルインプットとして、HRTとALTによる絵本のSmall Talkを行い、それを基にALTと子どもたちが、絵本に関する簡単な英語でのやり取りを行う。即興的な要素を含んだやり取りを通して、紹介したい内容や使いたい語句や表現を整理し、共有する場を設ける。

本時では、絵本の内容について「自分が紹介したいこと」をグループで交流するところから始める。聞き手に分かりやすく紹介することができるように、子どもたちは内容の書かれた付箋紙を動かしながら、話す順番を並び替えたり、内容を組み合わせたりする中で、語句や表現を選択・決定できるようにする。そして、自分の英語を話す姿をタブレット型端末で録画・視聴することを繰り返すことで、言語面や内容面での気付きが深まる場を設定する。

3 単元の目標(記号は本校の資質・能力表による)

(1) ゆっくりはっきりと話された際に、英語での自己紹介や絵本の紹介に関する簡単な語句や基本的な表現を聞き取り、その意味が分かる。(1, 3)

(2) 絵本の内容や紹介する理由等について、自分の考えや気持ちを表現するために必要な、簡単な語句や基本的な表現を工夫する。(11, 13, 19)

(3) 慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、自分の考えや気持ちを表現しようとする。(オ)

4 単元の構想（総時数 8 時間）※選択・決定を通して、自律的に学習を進めるための支援

Unit 4 I like blue. (3年生) Unit 5 What do you like? (3年生)
 Unit 8 What's this? (3年生) Unit 1 Hello, world!
 ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ

CT：モジュール学習（朝の15分活動）の時間

	時間	学習活動	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
○本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに着目し、自分の考えや気持ちを表現するために必要な語句や表現、伝え方を工夫する。	CT ①	(1) オーストラリアからのメッセージ動画を視聴し、単元のゴールを確認する。 単元の Goal オーストラリアの小学生に、絵本の紹介をしよう！	・学習への意欲を高め、学習のゴールをイメージすることができるように動画を提示する。	・英語で話された紹介の内容の大体を理解している。〈1, 3〉
	CT ②	(2) メッセージ動画の返事の内容を考える。	・自己紹介において使える語句や表現を確認できるように、全体で既習事項を共有する。	・既習事項を用いて紹介する内容を英語で考えている。〈オ〉
	1	(3) 前時に考えた内容を踏まえて、自己紹介を行う。	・より分かりやすい自己紹介をするために、Teams で動画を共有する場を設ける。	・表情豊かに動作を交えて英語で紹介している。〈11〉
	CT ③ ～ ⑦	(4) グループで紹介する1冊の絵本を選ぶ。He や She, 形容詞の表現に慣れ親しむ。	・絵本の紹介への動機付けを図るために、HRT と ALT による絵本についての Small Talk を行う。	・既習事項を用いて英語での伝え方を考えている。〈オ〉
	2	(5) 紹介する絵本について、話す内容を考える。	・絵本の紹介内容や使いたい語句や表現を整理することができるように、ALT と英語でのやり取りを行う場を設ける。	・既習事項を用いて紹介する内容を英語で考えている。〈オ, 19〉
	3 本時	(6) 付箋紙を使って話す内容や順番をグループで決める。話し合った内容を基に、絵本の紹介をする。	・聞き手に分かりやすく紹介することができるように、紹介したい内容が書かれた付箋紙をグループで共有し、話す順番を並び替えたり、内容を組み合わせたりする場を設ける。	・紹介する内容を工夫し、簡単な語句や基本的な表現を用いて英語で伝えている。〈オ, 19〉
	CT ⑧ ～ ⑫	(7) 紹介動画を視聴しているオーストラリアの小学生の反応を確認し、更に修正を加える。	・前時の語句や表現を再構築したことのよさを自分自身で実感できるように、紹介動画についての感想の動画を子どもたちに Teams で紹介する。	・相手の反応に応じて、語句や表現を工夫して英語で伝えている。〈オ, 19〉
	4	(8) Web 会議システムを活用して、修正を加えた絵本紹介をリアルタイムで行い、質疑応答をする。	・既習事項を用いて主体的に活動へ参加することができるように、子ども同士のやり取りをサポートしながら、英語を用いる積極的姿勢を称賛する。	・主体的に英語でのコミュニケーションを図っている。〈オ, 13, 19〉

◎本単元で育む主な資質・能力
 慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。(オ)

Unit 8 This is my favorite place. ～ふるさと秋田を紹介しよう～
 ・自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて話す

5 本時の実際（3／4）※モジュール学習を含めない

(1) ねらい オーストラリアの小学生が「読んでみたい」と思える内容や伝え方に着目し、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを表現する。 〈オ, 19〉

(2) 展開

○省察を通して、自律的に学習を進めるための支援
 ※選択・決定を通して、自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
2分	① Today's Goalを確認し、活動の見通しをもつ。 Today's Goal オーストラリアの小学生が「読んでみたい!」と思える絵本の紹介をしよう!	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって活動に取り組むことができるように、本時の目標や流れを黒板に掲示し、確認する。 絵本紹介の完成形を具体的にイメージすることができるように、4つの条件(①1分半にまとめる, ②グループ全員が、自分の思いや考えを英語で話す, ③挿絵を見せながら紹介する, ④話す順序は聞いている人が分かるようにする)を確認する。
13分	② 前に書いていた付箋紙を使って話す内容や順番をグループで決める。 Presentation of picture book ・ Title (author, publisher) ・ Character (personality) ・ Reasons for your choice ・ Impressive phrase, illustration ・ Story ・ Question	<ul style="list-style-type: none"> ※聞き手に分かりやすく紹介することができるように紹介したい内容が書かれた付箋紙をグループで共有し、話す順番を並び替えたり、内容を組み合わせたりする場を設ける。 紹介したいことを英語で表現することができるように、必要に応じてタブレット型端末を用いて、使いたい語句や表現を調べたり、ALTに質問をしたりすることができる場を設ける。その際、他のグループの児童も理解できるように、語句や表現の難易度が高くないように助言する。
10分	③ 話し合った内容を基に、1回目の絵本紹介の動画を撮影し、内容を確認する。 ・どんな英語を使えばいいかな? ・どうやって言ったらいいかな? ・これで合っているのかな?	○絵本紹介の内容を膨らませ、使うことのできる語句や表現を増やすことができるように、子どもたちと英語でのやり取りをする場を設け、気付きを促す。
8分	④ 自分たちの動画を見返したり、他のグループの動画を見たりして気付いたことを共有する。 ・こう言えばいいのか! ・次はこの表現を使おう!	○内容の工夫や伝え方の大切さを見付け、語句や表現を捉え直すことができるように、グループごとに、自分たちが撮影した動画を見返したり、Teamsで他のグループの動画を見たりする場を設ける。そこで気付いた、よいところや参考にしたい点をグループで話し合い、全体で共有する。
7分	⑤ ④で気付いたことを基に2回目の絵本紹介を行う。 ・ This (book) is ~. ・ He / She is ~. ・ I like ~. I want ~. ・ It's ~. ・ What ~ do you like? ・ Please read this book!	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもって紹介することができるように、話し方や表情、動作を交えることについても助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> グループで紹介する絵本について、絵本紹介の条件を念頭に話す内容を工夫し、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えている。 〈オ, 19〉(動画データ・行動観察) </div>
5分	⑥ 本時の活動を振り返る。	○本時の学びを自分の中で整理し、新たな気付きを得られるように、Teamsのコメント欄に振り返りを一人一人が投稿し、全員が共有できるようにする。